

会長：平子玲子 札幌市西区琴似4条6丁目5-8-601 (TEL643-3491) 発行人：安高誠吾 Email :syasutaka@bear.odn.ne.jp

幹事会報告 1月22日(月) Zoom会議

出席：菊地、平子、高田、中島、安高

- 第1回例会報告：1月14日、手稲ハイランド、参加者6名
 - 第2回例会（1月28日、手稲ハイランド）の参加予定者と配車の確認
 - 第3回例会（2月18日、手稲ハイランド）の参加予定者と配車の確認
 - スキーフェスティバル（2月3、4日、カムイリンクス）参加予定者：1名（伊澤）
- 次回幹事会：2月21日(水) 18:00よりZoom会議

幹事会報告 2月21日(水) Zoom会議

出席：大橋、菊地、平子、高田、中島、安高

- 第2回例会報告：1月28日、手稲ハイランド、参加者8名
 - 第3回例会報告：2月18日、手稲ハイランド、参加者5名
 - 第4回例会（2月25日、手稲ハイランド）の参加予定者と配車の確認
 - 第5回例会（3月10日、手稲ハイランド）の参加予定者と配車の確認、打ち上げのお茶会（各自お湯とカップを持参）
 - 検定ご苦労さん会：日時：3月2日4時30分より、会場：居酒屋「ごったがえし」、会費4,000円
地下鉄琴似駅近接の「ケンタッキーフライドチキン」の2階
 - 番外例会：第4回例会で検討する 検討の結果次のように決まりました
・3月24日(日) 手稲ハイランド ・4月11日(木) 札幌国際スキー場
- 次回幹事会：3月20日(水) 18:00よりZoom会議

第1回例会（1月14日、手稲ハイランド）

報告：安高 誠吾

第1回目の例会なので、まず初めにスキーの真上に乗るポジションをスキー学習会で紹介したバリエーショントレーニング（両足を交互に歩くように上げ下げしながら滑る、真下への横滑り、ブルークファーレンなど）で練習しました。またフリー滑走では横移動を大きくとってサイズの大きなターン（すぐ曲がろうとしない）を描くようにしました。鈴木さんの滑りを初めて見ましたが、姿勢がとても良い。滑りのシルエットが高田さんに似ています。まずSAJ3級を目指して頑張ってください。

ロッジで昨年退会した高田さん一家（お父さん、久遠君、湊瑞ちゃん）に会いました。子どもたちは1年の間にすっかり背が伸びていて驚きました。ゲレンデで一緒に写真を撮りました。

（参加者：岡崎、菊地、鈴木、高田、中島、安高）





吹き荒れた暴風雪のあと、第2回例会は最高のスキー日和でした。スキー場までの山道も雪の花がキラキラ輝き、オリンピアの山頂からは山の稜線もくっきりと見え最高の景色でした。が、さらにさらに、手稲山の頂上は目を見張る、息をのむ、叫びたくなるような見事な樹氷でした。蔵王のようなモンスターではなく、スキー場全体が白い妖精が出てくるような繊細で優雅にも見える樹氷で包まれていました。この感動をうまく表現できないのがもどかしい。大橋さんは神々しいと表現、中島さんは最高のロケーションと。今日ここにスキーに来てこそ出会えた景色でした。8名の参加。李さんが初滑りでした。緊張がビシビシとつたわってきます。オリンピアの斜面は

安全にプルークボーゲンで下りてくることができます。自信をもって♥ 恐怖心がなくなり、緊張が和らぎ、スキーが楽しいと思えるように応援しますからね。（参加者：李、大橋、岡崎、菊地、鈴木、高田、平子、中島）

快晴で頂上の気温1度、昼食後4度と暖かい1日でした。今回で3回目の参加です。1回目と2回目は、指導された事が納得でき、自分なりに滑れたと思いました。3回目は体重を板にのせる、膝の角度など、難しかったです。指導された事が理解できず、滑ってもダメでした。皆さんを見ていると、無駄な力が入ってはず、軽やかで上手だな、美しいなあといつも感心しています。落ち込んではいませんが、指導された事を正しく理解できない自分に呆れた1日でした。でも頑張ります。これからもよろしくをお願いします。（参加者：岡崎、菊地、鈴木、平子、中島）



1月27日の事前講習に続いて、28日に本戦が北長沼スキー場で行われました。デモ戦が北海道で開催されるのは今回初めてで、デモ戦には13名、テクニカルコンペには17名が参加しました。北海道からデモが生まれることが期待されていましたが、藤井隆幸さん（グロウスキークラブ）と宮腰大さん（岩見沢ホワイトフレンド）のお二人がデモに認定されました。さすがに見事な滑りでした。テクニカルコンペは男女別で、年齢によりレギュラーとマスターズに分かれています。それぞれのジャンルの上位者が表彰されました。採点結果は全国スキー協のホームページで見ることができます。

本年度の検定会が2月17、18日に北長沼スキー場で行われました。琴似ステップからは伊藤さんが初級指導員検定に初めて挑みましたが、残念ながら合格に至りませんでした。採点結果を見ると、応用技術と理論（レポートとペーパーテスト）は合格でしたが、指導法実技と教程技術で点数が少し足りませんでした。スキーの技術だけが見られる応用技術種目と違って、この2種目は教程のポイントを理解し、それを的確に表現して伝える指導力が求められているので慣れが必要で、初めての挑戦では難しかったのかなと思います。部分合格ですからこの2種目に集中的に練習して再度挑戦して下さい。なお今回の検定受験者は16名で、中級では2名、初級では4名の指導員が生まれました。

編集後記：検定会が終わるとスキーシーズンも後半になったと感じます。検定会を側から見ていると受験者のヒリヒリするような緊張が伝わってきます。そんなプレッシャーの中に身を置いているスキーヤーは偉いなと思いました。（安ベエ）